

誰もがいつまでも楽しめるニュースポーツ。このコーナーでは、さまざまなニュースポーツの魅力を紹介します。

今月のスポーツ

ソフトバレーボール

ソフトバレーボールは、生涯スポーツとして親しまれているバレーボールに似たスポーツです。基本的なルールはバレーボールと似ていますが、大きくて柔らかいボールを使うことが特徴です。また、コートのはしらはバドミントンと同じで、ネットの高さは2mと低くなっています。

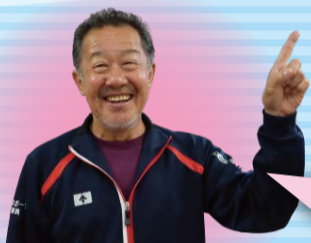


ボールが柔らかいので、初めての方でも楽しめますよ。



競技のここが楽しい!

1チーム4人制で少人数のため、一人一人がボールに触れる機会が多く、活躍するチャンスがたくさんあります。



スポーツ推進委員協議会 会長
すぎもと なおや
杉本 直哉 さん

チームの仲間と得点の喜びを分かち合いながら、和気あいあいと試合ができます。

問合せ スポーツ課 ☎ 382-9029 📠 382-9071



ひとまち・モータースポーツ

ホンダ初の4輪市販車「T360」

現在、1台のクラシックな軽トラックを鈴鹿市役所1階に展示しています。1963(昭和38)年に誕生した、ホンダ初の4輪市販車「T360」です。

この軽トラック、実はとんでもない高性能な車両なんです。搭載するエンジンは、高回転・高出力のDOHC4気筒で、発揮される最高出力は30馬力。そのパワーは、当時の他社モデルの1.5倍以上もありました。また、エンジンを車体中央付近に配置するF1と同じミッドシップレイアウトで、軽快な運動性能を持ち合わせていました。まさにホンダらしい“ぶつとんだ”4輪のデビュー作と言えるでしょう。この販売開始翌年には、国内メーカーとして初めてF1世界選手権に挑戦を開始していることもあり、すさまじい熱量のチャレンジスピリットが、この車両にも注ぎ込まれていたことが想像に難くありません。

ボンネットの「H」が誇らしげなT360。車両のバックパネルには、「レースをしなきゃクルマはよくなる」など、本田宗一郎氏の言葉を記しています。その言葉の数々とともに、熱かった時代を感じてみてはいかがでしょうか。



▲ホンダ「T360」
(展示は11月30日まで)

なかのよししげ

■中野能成(鈴鹿モータースポーツ友の会 事務局)

キーボード



先日、4年ぶりに開催された地元の祭りに参加しました。太鼓やかねをたたきながら山車を引いて町内を回るその祭りは、子どものころの私にとって、夏の始まりを告げてくれる一大イベントでした。

地域で行う事前の練習も祭りの醍醐味の一つ。未就学児などの初心者は、大人が付き添いかねを練習。一人でたたけるようになった子は、太鼓へとステップアップ。早く太鼓を叩いてみたい。その思いで、練習を頑張ったような気がします。

今回、小学1年生と年中になる2人のわが子に、初めてかねのたたき方を教えました。きょうだい同士で競いながら練習する姿が、約30年前の自分の姿と重なり、当時がよみがえってきました。

近年、地域で取り組む行事も少なくなっています。地域での経験が、子どもたちにとって、夏の思い出として残ってほしいと思いました。(由)